



エントランス

御影公会堂改修工事

建物老朽化に伴い修繕及びバリアフリー対応に、外観はそのままの姿にとどめるタイル復原工事。

清水栄二設計による1933年(昭和8年)竣工の昭和初期の様式建築からモダニズムへスタイルの過渡期をうかがわせる建築物です。外壁のスクラッチタイルや窓周りの分厚い縁取り、アーチ状の天井や、船体をイメージさせるデザインなどが建物の特徴である。丸い形状の開口部、半円形の窓など意匠に合わせて、スクラッチタイルは施工され、既存のタイルと新規で施工された復原タイルは経年変化により長い時間を掛けて外壁全体が馴染んで来るような色合いを選択している。



全景

DATA

施主 : 神戸市
 設計 : 株式会社昭和設計
 施工 : 株式会社山田工務店
 所在地 : 神戸市東灘区御影石町4-4-1
 竣工 : 2017年12月

商品情報

復原タイル : TFC-2S/特注

外観



全景



壁面と開口部



外観



エントランス(入口前)



開口部



ディテール



外装壁面コーナー部タイルディテール



外装壁面タイルディテール

